

お知らせ

沖縄県中部病院感染症科 高山義浩先生による、よく聞かれる質問に対する回答を高山義浩先生の許可を得て、少し和歌山県有田郡にあわせて改変しました。

1 子供が発熱したら必ず検査を受けさせるべきですか？

当地でも新型コロナウイルス感染症が流行してきています。このため、お子さんに発熱や咳などの症状を認めるときは、検査をうけて頂く必要があります。これは周囲への感染予防を行うためにも重要です。

お子さんの症状が軽い場合、受診させるか悩むと思います。また受診先が見つからなかったり、見つかって検査が出るのに時間がかかったりすることも考えられます。

医師の診察を受けるのが一番ですが、それが難しい場合、**救急医療情報センター（073-426-1199）**や**和歌山県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口（073-441-2170）**に電話して相談してみてください。どちらも**24時間体制で相談に乗ってくれます。**

コロナ感染症の検査法には

- 1) 抗原定性検査：陽性となれば感染している可能性大
- 2) PCR検査：陽性となれば感染していると考えます。

がありますが、判定までに要する時間は、抗原定性検査で約15分、PCR検査では、約一日かかります。

子供さんの場合、検体は唾液（つば）による抗原定性検査でも調べられますが、検出漏れもあり最終的にはPCR法になります。

ただし、抗原定性検査で陽性となれば、感染している可能性が極めて高いので、直ちに保健所から、連絡が届きますので自宅待機して下さい。

上記検査が陰性であっても感染が否定されません。

感染者との接触があったなど、とくに新型コロナウイルスに感染したと考えられるときは症状を認めた日を0日目として10日が経過し、かつ、解熱剤を使わずに24時間発熱等の

症状がなくなるまでは、学校、塾、クラブ活動を休ませるようにしてください。

つまり 10 日間は他人に感染させる可能性があるということです。

もし検査で陽性となった場合入院して隔離になるのですか？

『和歌山県の 8 月 31 日の時点では、全員が入院になります。ご両親いずれか又は家族に付き添っていただきます。』

但し、今後感染が拡大してくれば、自治体により、また状況により方針は異なりますが、自宅での療養継続となります。高齢者、持病がある方などの同居者いる場合には、宿泊施設での療養となることがあります。希望される場合には健康観察の担当者に申し出てください。宿泊施設でも、ご両親どちらかに付き添いをお願いすることになります。

子供の検査結果を待つ間に、学校を休ませて祖父母に預けるときには、注意してください。

祖父母がワクチンを受けていても、超濃厚接触すれば、感染する可能性がありますし、高齢者では重症化する恐れもあります。

できうる限り祖父母や持病のある方に預けないようにしてください。

結果が出てから慌てても遅いのです。

こうして重症化する高齢者が少なくありません。

よくある質問 2 感染した子供を自宅で見守るときの注意点

一般的に、新型コロナウイルスのこどもにおける病原性は明らかに低く、これまで国内での死亡例は出ていません。

ただし、乳幼児は感染症に弱く、乳児、学童では重症化することもあります。

自宅で療養しているお子さんの状態を定期的に観察してください。高い熱が出ているだけであわてる必要はありませんが、食べられない、寝られない、遊ばないなど、いつもと様子が違って心配な場合には、かかりつけ医などの医療機関、救急医療情報センター（073-426-1199）や和歌山県新型コロナ感染症専用相談窓口（073-441-2170）に相談してください。

特に以下の症状を認めるときは、なるべく早く医療機関を受診するようにしてください。

A) 顔色が悪い（土のような色）、唇が紫色している

B) 呼吸が早い、息苦しそうにしている、小鼻で呼吸をしている（鼻翼呼吸）
ぜ～ぜ～した呼吸をしている。

C) ぼんやりして視線が合わない、問いかけに反応しないなど、意識障害の症状がある。

D) 半日以上おしっこが出ていない。嘔吐や下痢が続いている。

E) 手足を突っ張る、目が上を向くなどけいれんの症状がある。

良くある質問 3

子供を自宅療養させるとき、どのような感染予防をすればいいのか？

まず、子供の療養する部屋を決める。

子供部屋があるなら、そこでよいが、独立したトイレがあるなど療養に適した部屋があるならそこに移して構わないです。

とにかく自室から出ないようにすることが一番の感染対策です。

部屋を出ざるを得ないときは、まずアルコールで手指を消毒してマスクを着用させます。不織布マスクの 2 枚重ね着用がお勧めです。部屋の外では、あちこちを触らせないようにすることも大切です。

可能なら本人が通った後の場所は、空気が入れ替わるぐらい換気しましょう。換気は対角線上に窓を開けるのが効率的です。窓がない場合、扇風機を部屋の中に向けるのもよいでしょう。サーキュレーターと組み合わせると理想的な換気ができます。

トイレなどの共有する場所では、感染した子供が使用した後に、手で触った可能性のある場所をアルコールで消毒してください。床の消毒は不要です。足跡からは感染しません。

入浴の順序は、感染した子供を最後にします。

浴室の消毒は使用直後よりそのまま放置して翌日にするほうが、ウイルス量も減っているので安全です。浴室内はアルコールで拭くよりも、洗剤を使って流してしまうほうが簡単です。つまり翌日に通常の清掃で構いません。念のため、マスクして清掃してください。

食事はできるだけ、ひとりで摂らせてください。小学生低学年以下では、ご両親の介助が必要です。窓を開けて換気しながら、必ずサージカルマスク（不織布マスク）を着けて介助してください。

キッチン近くで食べさせるしかないときは、他の家族の食事が終わって退室させてから換気扇を回したり、窓を開けたり換気しながら、サージカルマスクを着けて食事介助しましょう。

タオル、シーツ、衣類についてはビニール袋に入れて 3 日間経過するまで子供部屋においておきましょう。これだけ放置すればおおむねウイルスの活性は低下します。さらに通常の洗剤で洗濯すれば感染性は失われますので、洗濯後の衣類などを消毒する必要はありません。

令和 3 年 8 月 30 日

文責 小野田クリニック 小野田幸男